



中部農林だより

No. 33(令和3年5月)
宮崎県中部農林振興局
宮崎市橘通東1-9-10
(電話)0985-26-7278

元気の芽



地産地消 マンゴー応援!



宮崎県産のおいしい果物
と言えばマンゴーです。

このコロナ禍にあっても
マンゴーの単価が堅調に推
移しているのは、「マン
ゴーを食べて元気になっ
てもらいたい」という生産者
の熱い思いが高品質の宮崎
マンゴーに込められている
からではないでしょうか。

ぜひ、自分へのごほうび
に、また大切な方への贈り
物に宮崎マンゴーをご活用
ください。

[農業経営課]

産地応援♪ 農畜水産物販売会が開催されました！

新型コロナウイルス感染症により価格の下落・消費の低迷等の影響を受けた農畜水産物の応援消費の取り組みとして、みやざき中央畜産物消費拡大推進協議会（JA宮崎中央・宮崎市・国富町・生産者部会で組織）の主催により「**ドライブスルーでCOW買う 地元のよかもん販売会**」が開催されました。

販売会では新型コロナウイルス感染症の対策として、事前の予約による**ドライブスルー方式での販売**を採用し、協議会からの補助による中部地域の多数の特産品（宮崎牛、宮崎ブランドポーク、きゅうり、ピーマン、マンゴー、お茶、胡蝶蘭、ハモ、ちりめん等）のお得なセット販売が行われました。



感染症対策も
しっかりと！



地域自慢の
特産品！



本県のブランド地鶏である「みやざき地頭鶏」の販売も行われ、中部地域の生産者5名がみやざき地頭鶏のおいしさを消費者の皆様幅広く周知しました。

来場された消費者の方々は、お目当ての農畜水産物を購入し大満足な様子で、大変盛況なイベントとなりました。

今後も応援消費をはじめとする各種取り組みを通じて、生産者への支援を行っていきます。

[農畜産課]

ひなたGAP

良い 農業の 実践

GAP (Good Agricultural Practice) の定義

- ✓ 環境に配慮されている
- ✓ 労働者の安全が確保されている
- ✓ 食品安全が確保されている

市瀬製茶がひなたGAPの認証を取得

市瀬製茶（宮崎市高岡町 市瀬勇二代表）が、「ひなたGAP」の認証を受け、3月24日（水）に中部農林振興局で認証書交付式が開催されました。

認証品目は「**荒茶**」で、2月の認証審査会にて認証を受けました。

市瀬氏は、約6haの茶を栽培。おいしいお茶づくりのために、自分で堆肥を作り、土壌分析も年に4～5回実施するなど、土づくりに力を入れており、年間約15トンの茶を生産されております。

また、中部地区茶業協議会の会長を務めており、地区品評会や研修会の開催を通して、地域の茶業振興に尽力されております。

今回の認証を機に、ステップアップして上位GAPの取得を目指していきたいと意気込みを語られていました。

[農畜産課]



認定を受けられた市瀬氏（右）



今年も茶摘みが
始まったよ！

令和2年度中部地区総合表彰式

県では例年、米の2部門、野菜、花き、果樹、茶、葉たばこの計7部門について優秀な成績を収めた農業者及び団体を表彰し、その業績を称える総合表彰式を開催しております。

例年は県全体の表彰式が開催されますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各市町村単位での開催となりました。

中部地区では、野菜、花き、果樹、葉たばこの4部門において計10名の生産者が表彰されました。

知事賞受賞者一覧

野菜共進会

- 経営部門(個人)
 - 優等 国富町 日高雄三さん(きゅうり)
 - 1等 国富町 黒木昌隆さん(ピーマン)
- 経営部門(集団)
 - 優秀賞 宮崎市 JA宮崎中央南宮崎支店茄子部会

花き共進会

- 経営部門(集団)
 - 優秀賞 宮崎市・国富町 JA宮崎中央キイチゴ研究会

果樹共進会

- 経営部門
 - 1等 宮崎市 野口政裕(マンゴー)

葉たばこ共進会

- 優等 宮崎市 津田政博さん
- 1等 宮崎市 川越崇司
- 国富町 高野幸一郎さん
- 2等 宮崎市 齊藤誠司さん
- 宮崎市 甲斐慎一朗さん



JA宮崎中央南宮崎支店茄子部会



左から：脇田さん(キイチゴ)、川越さん、津田さん、野口さん、甲斐さん

特別賞受賞者一覧

農林水産大臣賞

日高雄三さん、津田政博さん

農林水産生産局長賞

JA宮崎中央南宮崎支店茄子部会
JA宮崎中央キイチゴ研究会、川越崇司さん

九州農政局長賞

野口政裕さん、高野幸一郎さん

宮崎経済農業協同組合連合会代表理事会長賞

日高雄三さん

宮崎県議会議長賞

津田政博さん

宮崎県たばこ耕作組合長賞

齊藤誠司さん

日本たばこ産業株式会社 南九州地方原料本部長賞

甲斐慎一朗さん



葉たばこ



左から：浜田局長、黒木さん、日高さん、高野さん

宮崎海岸松林で松くい虫薬剤防除（空中散布）を実施

宮崎市の海岸沿いにある松林は、**県内最大規模**を誇り、潮害や飛砂から市民の生活を守るだけでなく、散策等を楽しむ多くの利用客に癒やしや安らぎを与えています。

しかし、平成24年度頃から、松くい虫被害による松の枯死が急激に拡大し、海岸保安林としての機能低下が懸念されました。

そのため、県では、潮害防備保安林や保健保安林として重要な役割を果たしている海岸松林を松くい虫から守るため、国や地元ゴルフ場等と連携して、**ヘリコプターを利用した薬剤散布**を毎年行っています。

例年より早い梅雨入りを迎えた今年は、5月10日（月）～14日（金）のうち、雨の合間をみて4日間をかけ、佐土原から木花までの海岸松林478haに散布しました。

当日は早朝から、ヘリ運航会社や薬剤積込作業を行う県森林組合連合会の皆さんをはじめ、散布区域への立入規制や走行車両への注意呼びかけについて、森林管理署や市など多数の関係者に御協力いただきました。

今後とも、美しい海岸松林を守るため、保安全管理に努めていきたいと考えています。

[林務課]



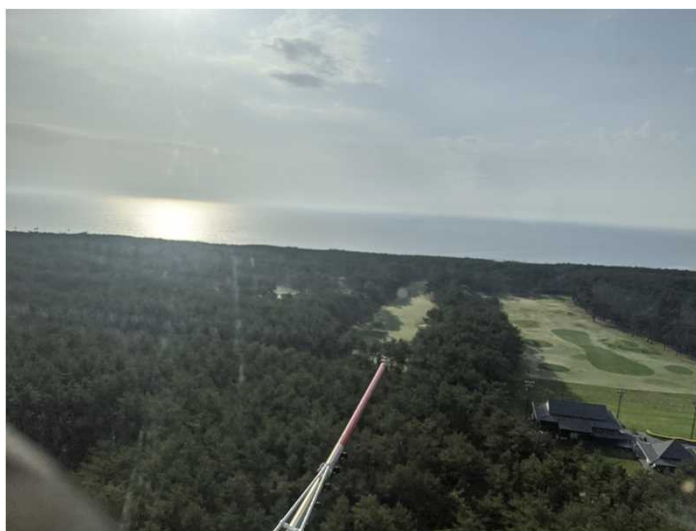
車体下部のノズルから薬剤を散布します。



この美しい松林を一度見たら、「こりゃ守らんといかん！」と思うはずよ。
(林務担当者 談)



夜明けとともに飛び立つヘリ。
低空飛行で効果的な散布を行います。



散布ヘリから見た松林



私たちの生活は、この海岸松林に守られているんだね。

林業における低コスト化に係る現地研修会

宮崎中部地区では、森林の伐採増加に伴い、林地の荒廃や伐採後に植栽されない森林が増加しています。

そこで、中部地区循環型林業推進協議会では、低コスト造林技術の活用普及を図るため、令和3年2月17日（水）、宮崎市高岡町浦之名の造林地において、再造林省力化等に係る現地研修会を開催しました。

今回は、スギ1年生の造林地0.12haに、麻製の防草シートを300枚（規格1.5m×1.5m）設置しましたが、植栽木1本1本に手作業で行い、参加者21名で約1時間15分で作業を終えました。

参加者からは、次のような感想が寄せられました。

- 竹串でシートの四隅を固定するが、土質によっては困難
- 伐採後の根付近の苗には設置が困難
- 地ごしらえ（整地）が雑だと、枝条（残っている枝）が邪魔でシートが浮いてしまう
- 植栽木を通すスリットが短く作業に手間取る
- スリットの間から草が繁茂する可能性がある

今後は5年間、シートを設置した植栽木を追跡調査し、樹高（上長成長）、雑草の繁茂状況を記録し、シート設置の効果を検証することとしています。

当協議会では、今後も、再造林省力化等の実証試験を継続して行うなど、循環型林業の確立に向けた「伐採後の速やかな再造林の推進」に取り組んでいきたいと考えております。

[林務課]



下刈り作業の省力化のため、苗木の回りに除草シートを設置していきます。



伐採後の土地。通常は、植栽後、苗木の成長を阻害する雑草の下刈り作業が必要です。

準備するもの

- ✓ 金づち
- ✓ 釘又はハサミ、マイナスドライバー
- ✓ 竹串、割り箸
- ✓ 除草シート



張り方

- ① 植栽木に除草シート中央のスリットを通し、地表面に設置
- ② シートのめくれを防ぐため、四隅に竹串等を金づちで刺して固定
- ③ スリットからの雑草の繁茂が見込まれる場合は、スリットのシートを重ねて竹串等で固定



5年間の追跡調査を行います。結果をお楽しみに！

宮崎市災害危険箇所合同調査

4月28日（水）、梅雨や台風シーズンを前に、宮崎市主催による災害危険箇所合同調査が実施されました。

調査には、県、宮崎市、国土交通省、気象庁など21機関55名が参加しました。

災害対策においては、関係機関との情報共有、現場同士の連携強化が重要となるため、今回の調査を通じて顔の見える関係を築くことができました。

[総務課]



レベル4	災害のおそれ高い	避難指示
レベル3	災害のおそれあり	高齢者等避難

中部地方連絡協議会

中部地方連絡協議会地域別会議の開催

4月22日（木）、中部地域の県出先機関（37機関）で組織する中部地方連絡協議会の地域別会議を開催しました。

会議には、日隈副知事にも御出席いただき、各所属の取組報告、コロナとともに生きる社会における今後の展開、県内就職率を向上させるための取組等について意見交換を行いました。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響で、県外への移動が制限されていますが、子ども達に地元の魅力に気付いてもらえるチャンスでもあります。

中部地域には県の中核的施設が集中しているため、土木、農業、医療福祉など多岐にわたる分野の現場見学が可能です。ICTなどの先進技術や生き生きと働く姿を子ども達に実際に見せ、具体的に将来への夢を抱かせることができれば、地元就職率の向上も期待されます。

今後とも人口減少問題をはじめとして、地域の振興や県勢の発展のため、互いに連携・協力しながら施策を進めていくことを確認しました。

[総務課]



会議に先立ち、「ひむか宮崎県総合運動公園」において、宮崎土木事務所等が整備を進めている津波避難施設の視察を行いました。

県総合運動公園 地連協議会ルート 令和3年4月22日(木)



津波避難施設の全体像



サンマリンスタージアムの避難デッキ



第一陸上競技場南の盛土高台

中部地方連絡協議会（中部地連協）は、中部地区にある県の出先機関の連絡を密にし、地方行政の総合的運営を図るために設置された組織で、37の機関から構成されています。
今回は中部地連協の中から、**宮崎県動物愛護センター**を御紹介します。



建物外観

中部地連協の紹介 Vo.2

宮崎県動物愛護センター

動物愛護センターは、動物愛護の普及啓発や殺処分数を減らすための譲渡の推進などを機能的に行える中核的施設として宮崎市と共同で運営し、「人と動物が共生する地域社会」を目指しています。開設して5年目のまだまだ若い施設です。

譲渡推進事業



毎週日曜日に犬猫譲渡会を開催していますが、現在新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止しています。

平日はいつでもワンちゃん、ニャンちゃんの譲渡はできますので、お気軽にお越しください。

地域猫対策事業

地域住民の合意のもと、飼い主のいない猫に不妊去勢手術を施すことにより、無秩序な繁殖を防止し、地域の生活環境の悪化を防止するとともに、殺処分数の減少に取り組んでいます。

いのちの教育

教育委員会と連携し、小学生等を対象に人と動物のかかわりあいを通して「いのち」の大切さを伝える取組です。

令和2年度は49校、2,848人の児童生徒が受講しました。

愛護センターの仲間たち

愛護センターのモテル犬



しろべはまだトレーニング中！デビューはいつかな

よしおはなかなか良い飼い主と出会えません（センター生活890日！）誰か早く迎えに来てくれないかなあ

動物愛護センター飼養管理業務：祝祭日にかかわらず毎日



保護猫室:30頭~40頭

療養室:4頭~10頭

譲渡室:10頭~20頭



猫砂、ヒーター毛布、餌、シーツ交換・ゲージ内意消毒

シリンジでミルク投与

哺乳瓶でミルク投与

投薬：点眼剤・抗生剤など

トリミング：シャンプー・ドライヤー



投薬指示

麻酔

手術：2名対応

譲渡犬舎（14頭）：清掃、給餌、運動
このほか保護室（3頭）、観察室（6頭）



令和2年度は愛護センターで**1,166頭**の野良猫に不妊去勢手術を実施しました。手術後の猫は一代限りの猫として地域の方々に見守られます。



授業風景



動物とのふれあい

急募!!ミルクボランティア!!



愛護センターには現在約100匹の乳飲み子が保護されています。授乳期の子猫を離乳するまでご家庭で育てていただく「ミルクボランティア」を**大募集**しています。

興味のある方は宮崎県動物愛護センターまで・・・
TEL:0985-84-2600

おなか
ちがいた

農道あれこれ

農道というと、田んぼのなかの砂利道を想像しますが、実際に走ってみると幅が広く、走りやすい道になっていることも多く、大げさに言えばまさにハイウェイ並み！という道もあります。

農道は、農作物を傷めることなく、より早く出荷するためという名目がありますが、**農業生産や農産物の流通**以外にも、**観光農業の推進、観光資源へのアクセス改善**のほか、**一般の生活道や災害時における国道等の迂回路**としての効果も期待されています。

みなさんは運転中に「**農免農道**」や「**広域農道**」という看板を見かけたことはありませんか？



農免農道

「**農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業**」によって整備された農道の呼称です。この事業は、農林漁業用機械で使うガソリンにも課税されている揮発油税を免除する「**身替り**」として農道を整備するというもので、1965年に制定されました。「**農林漁業用機械に課税された揮発油税の「免」除分**で整備された農道であることから、農免農道と呼称されます。

民主党政権下における事業仕分けの対象となり、2008年度（平成20年度）をもって廃止されたため、以降は新たな農免農道は整備されていませんが、継続中であったものについては、現在、農山漁村地域整備交付金を使った「**基幹農道整備事業**」として整備が続いています。

一般農道

農免農道や広域農道以外の一般的な農道を指します。ほ場整備された農道を結ぶ道路、田地畑地等の農道網などの道路を指し「**一般農道整備事業**」によって整備されます。

ドライブマップやカーナビの地図にも農道はそれほど目立つような描かれ方はされていないので、多くの場合、交通量も信号も少なく車窓からの眺めを建物に邪魔されることもありません。



広域農道

「**広域営農団地農道整備事業**」によって整備された道路で、散在する農地をひとつの団地とし、農業を一元化して流通の効率化を図るなどで、**産地としての価値を市場で高める**ことを目的とした農道です。幹線道路や環状道路のバイパス機能を持つこともあり、一般的な車の通行も多く見られるのが特徴です。

ふるさと農道

「**ふるさと農道緊急整備事業**」によって整備された農道です。地域が緊急に対応しなければならない課題にこたえて、早急に農道の整備を推進する目的で創設され、地方債を財源とし、都道府県や市町村が行う地方単独の事業です。1993年から2007年までの時限措置であり、現在事業は終了しています。



ひと味違った発見を求めて、農道を見つけたら、ぜひドライブしてみたいかですか？

